

あおがく通信

編集・発行
(学)青池学園 広報室
2015. 12. 1
第16号

青学祭を終えて

あおがく通信第16号！今回は「第7回青学祭」特集です！今回のテーマは「彩（いろどり）」でした。自分のもっている色（個性）をだしてもらい、全員の色を合わせて青学祭を彩っていくことで一人一人の色の詰まった青学祭にしていこう！という意味を込めて決めました。今年は青学祭ウィークに体育祭も行われましたので、体育祭と学園祭について各部の部長に準備から関わってきた感想と青学祭を終えての感想をインタビューしました。



若狭医療福祉専門学校

実行委員長 理学療法科2年 奥 共平

今回は3日間という短い期間で準備をすることになりましたが、一人一人が真剣に取り組んでいたおかげで、当日を迎えることができました。準備期間が短いながらも日頃から勉強していることを生かして、地域の方々に楽しんで満足していただけるような企画をたくさん用意できました。お越しいただいた方の笑顔や満足そうな表情を見た時は、頑張って準備してきた良かったと思えました。来年以降もまた盛り上げていってほしいと思います。

模擬店部

部長 介護福祉科2年 上倉 啓太

学術部

部長 理学療法科2年 平口 智也



苦労して頑張って作った品物が売れ余ることないようにみんなで協力できた。反対に売れ行きがよく、商品の提供が間に合わないぐらいであった。部員への指示も自分からできず、担当教員に指示させてしまうことになってしまい、連携の難しさを知ることができました。

同じフロアで全科行うことになり、限られたスペースで地域の方々にできるだけ楽しんでいただくことができました。同時に同じフロアで行うことで各科との連絡を取り合うことの難しさや大切さを学ぶこともできました。

献血ちゃん



献血の様子



献血車両



献血車内で献血。すべての血液型が不足しているということもあり、多くの学生、地域の方々にご協力いただきました。

ホール企画部

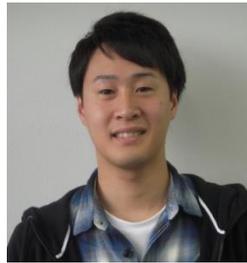
部長 介護福祉科2年 山下 隼人



今年は昨年までと違ったことをしようということでクイズラリーやステージの形など考案してきました。ステージの位置もこれまでと違ったことで入退場の仕方や装飾もすべてが異なることになったので企画から準備まで短い期間ながらも部員にはかなり頑張ってもらいました。前日まで慌ただしく、多くのハプニングがありました。当日の進行は思ったよりも順調に進行できたと思います。みなさん、お疲れさまでした！！

体育祭企画部

部長 理学療法科2年 内藤 慎也

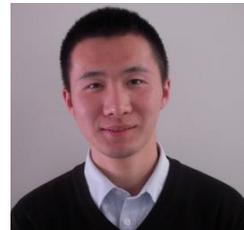


体育祭準備期間中はルールの取り決めなど時間がかかってしまいましたが、放課後も残って準備してくれました。今年は球技、リレーの他にも『ハピネスダンス』を全員で取り組み、大縄跳びも追加しました。どれも団結力を高めるための取り組みです。みなさんのがんばりと協力のおかげで大変、盛り上がりました。また、大きなケガもなく終わることができて良かったです。初めての取り組みということもあって、終わるまでどうなるかという不安もありましたが、終わってみると達成感と爽快感に満ち溢れていました。日頃の学校生活の中ではなかなか感じられない感情であり、体育祭がこのような機会になりえたことに部長として嬉しく思います。体育祭、お疲れさまでした！！

青池調理師専門学校

学術部責任者 高等課程3年 青谷 治権

年に1回の学園祭のために各学年ともレシピを考え何度も試作をしました。その甲斐があり、たくさんお買い上げいただき、多くの皆さんの笑顔を見せてもらうことができました。その笑顔が私たちが調理の世界へ進む励みになりました。



カフェ企画部長 専門課程1年 富永 悠

緊張もしましたが、調理の準備から楽しく感じました。また、皆さんがおいしそうに食べていただけていたことがとても嬉しく感じました。これからの勉学にも今回の経験を生かして頑張っていきたいです。



バザー売上金 11,100円 募金額 3,142円

バザー売上金と募金を合わせて「はぴりゅう募金」と「福井県しあわせ基金」に寄付しました。ご協力ありがとうございました！



編集後記

今回、「彩(いろどり)」をテーマに青学祭を開催いたしました。みんなの色を出し合い青学祭を彩ってほしいという実行委員長の願い通り、それぞれの色を出し合うことができたのではないのでしょうか？一般客の中には幼児も多く、保育科学術の出し物やはぴりゅう、献血ちゃんの人気うかがえました。来年の第8回青学祭も盛況となるように楽しい企画を創っていきましょう。(青学祭 広報部)